

三重縣公報 (第百六十五號) 明治二十五年三月二十六日 第三種郵便物認可

三重縣公報

第六百六十五號

大正八年四月八日
火曜日

○訓令

●三重縣訓令甲第七號

船員給與規程中左ノ通改正ス

大正八年四月八日

三重縣知事 長野 幹

第三條中「金七拾錢」ヲ「金八拾貳錢」ニ改ム

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○告 示

●三重縣告示第四百四號

左記ノ者ニ對シ頭書ノ通小學校教員免許狀ヲ授與セリ

大正八年四月八日

三重縣知事 長野 幹

小學校本科正教員

八木壽治

●三重縣告示第百五號

產婆名簿登錄事項左ノ通

大正八年四月八日

三重縣知事 長野 幹

訂正登錄月日	事	住	所	族籍	氏名	生年月日
三月廿八日	轉	住	川北貳百番地	三重縣平民	野崎 きみ	明治三十二年三月十八日生
四月一日	轉	住	津市下都田千五百壹番地	三重縣平民	若原 德得	明治二十九年三月二十八日生
取消登錄月日	事由	住所	族籍	氏名	生年月日	
三月二十六日	死亡	桑名郡多度村大字肱江三百三十四番地	三重縣平民	水野 ナイ	弘化二年九月十八日生	
三月二十八日	廢業	桑名郡桑名町大字桑名百八十七番地ノ一	三重縣平民	森 ぼき	明治十七年九月十三日生	

○廳中事項

●叙任辭令

大正八年三月二十八日

三重縣技手 竹内 靜雄

給五級俸

三重縣技手 竹内 靜雄

依願免本官

大正八年三月二十九日

三重縣警部補 谷 信吉

任三重縣警部

給十級俸

警察部警務課勤務ヲ命ス

大正八年三月三十一日

三重縣警部補 鈴木 大助

任三重縣警部

給九級俸

四日市警察署在勤ヲ命ス

三重縣巡查 北村 彌一

任三重縣警部補

給月俸貳拾六圓
津警察署在勤ヲ命ス

三重縣巡查

細野 盛男

任三重縣警部補

給月俸貳拾貳圓

龜山警察署在勤ヲ命ス

三重縣巡查

神部 忠次郎

任三重縣警部補

給月俸貳拾貳圓

松坂警察署在勤ヲ命ス

三重縣巡查

瀧上 磯吉

任三重縣警部補

給月俸貳拾圓

鳥羽警察署在勤ヲ命ス

三重縣巡查

栗山 忠平

任三重縣警部補

給月俸貳拾圓

桑名警察署在勤ヲ命ス

三重縣巡查

塩谷 健重

三重縣產業組合主事補ニ任ス
月俸四拾七圓給與

內務部農商課勤務ヲ命ス

三重縣農業技手兼三
重縣產業組合主事補

林 久四郎

三重縣產業組合主事補ニ任ス
月俸參拾六圓給與

內務部農商課勤務ヲ命ス

(各通)

潤田 久吉
堀井 幸夫

三重縣多氣郡農業技手ニ任ス

阿部 登

三重縣志摩郡農業技手ニ任ス

小川 勝

三重縣北牟婁郡林業技手ニ任ス

塩谷 健重

(各通) 三重縣產業組合主事補

林 久四郎

三重縣產業組合主事補

鈴木 政雄

三重縣鈴鹿郡立原蠶繭製造所
技手兼三重縣鈴鹿郡農業技手

願ニ依リ本職並兼職ヲ免ス

三重縣河藝郡農業技手 鈴木 正一

願ニ依リ本職ヲ免ス

三重縣河藝郡立原
蠶繭製造所技手

川北 助太郎

事務ノ都合ニ依リ本職ヲ免ス

三重縣警部補 木村 茂

宇治山田警察署吉津分署長ヲ命ス

三重縣警部補 堤ノ内 信次郎

神戸警察署白子警部補派出所在勤ヲ命ス

三重縣警部補 宮崎 英一

松坂警察署在勤ヲ命ス

三重縣警部補 佐々木 佳之

久居警察署在勤ヲ命ス

三重縣警部補 石丸 峯三

上野警察署在勤ヲ命ス

三重縣警部補 重藤 朋太郎

宇治山田警察署在勤ヲ命ス

三重縣警部補 村田 駒吉

(各通)

三重縣警部補 野呂 顯太郎

警察講習所へ入所ノ爲メ上京ヲ命ス

大正八年四月一日

淺尾 政次

任三重縣安濃郡書記

給月俸拾壹圓

山本 久太郎

三重縣飯南郡農業技手ニ任ス

大正八年四月二日

三重縣屬 高橋 信藏

縣會議員補選舉監督ノ爲メ知事代理トシテ桑
名郡へ出張ヲ命ス

○通報

農第二、四四二號ノ一
大正八年四月八日

內務部長

各郡市長殿

各町村長殿

日露漁業協約ニ關スル件

日露漁業協約ニ據リ露國政府カ日本國臣民ニ貸

下クル漁區ハ從來鮭、鱒及鯉ヲ漁獲ノ目的トス
ルモノニ限ラレ居候處今般寮國當局ハ我年來ノ
希望ヲ容レ鱈又ハ蟹ヲ漁獲ノ目的トスル漁區ヲ
モ特設スルコトト相成既ニ願書ノ受理ヲ開始セ
ル趣其ノ筋ヨリ通報有之候ニ付管下當業者ハ周
知方御取計相成度
右通牒ス

追テ右特設漁區ノ願書受理ノ切期限ハ四月十
六日ニシテ漁區表及貸下條件等ハ追テ通知ア
リ次第逐次公表可致候尤モ貸下條件ニ付露國
當局ノ内示シタルモノハ左記ノ通ニ有之當業
者ノ爲メ不便ト認ムル虞ニ付テハ修正方目下
交渉中ノ趣ニ有之候條御合ノ上可然御取計相
成度尚漁區ヲ競奪シ經營スルモノハ外國領海
水產組合法ニ依リ現在スル水產組合へ加入ヲ
要スル議併セテ周知セシメラレ度申添候

左記

- 一、九一九年漁業協約施行極東水域ニ於テ
左記條項ニ依リ鱈漁場ヲ開設ス
- 一、鱈漁ノ爲メニハ沿海漁區設置ニ當リテ爲ス

ト同シク出願者ノ指定スル場所ニ特別ノ漁區ヲ設置ス

二、該漁區ハ現行日露漁業協約及政府工事請負規則第四百一十一條乃至第七十條ニ基キ浦鹽德斯市ニ於テ入札競争ノ方法ヲ以テ貸下ク

三、鱈漁區一ヶ所ノ延長ハ海岸ニ沿ヒ直線ニテ計算シ十露里トス且二個ノ鱈漁區間ノ距離ハ直線ニテ計算シ五露里以上ナルヲ要ス但シ鱈漁區ハ既開若ハ開設セムトスル鱈漁區ト重複スルヲ得ス

四、借區者ハ水面漁區ニ於テ捕獲シタル鱈製造ノ爲メ其ノ撰擇ニ依リ陸地ノミ若ハ船舶ノミヲ使用スルコトヲ得借區者ハ契約締結ノ際自己ノ撰擇ヲ行政廳ニ届出ツヘシ

五、第一ノ場合ニ於テハ漁業者ハ其ノ租借ニ係ル十露里漁區ノ境域内ニ於テ海岸ニ沿ヒ延長百五露里間陸上與行四十露里間ノ陸地ヲ撰定スルコトヲ得本陸地ハ河口ヨリ二露里以上ノ距離ヲ有シ且一般漁區若ハ鱈漁區ト重複スルコトヲ得但シ船内ニ於テ魚ヲ捕獲シ若ハ其

ノ他ノ製造ヲ爲スコトヲ得ス之ニ違犯シタルコト發覺シタルトキハ船舶ハ沒收セラルヘシ

六、船内ニ於テ鱈ヲ製造スル場合ニ於テハ船舶一隻ニ於テ製造ヲ爲スコトヲ得該船舶ハ鱈漁區ノ境域内ニ於テ碇繫スヘシ但シ陸上ニ於テ魚ヲ捕獲シ若ハ其ノ他ノ製造ヲ爲スコトヲ得ス之ニ違犯シタルコト發覺シタルトキハ製造物ハ同所ニ於テ發見セラレタル一切ノ財産ト共ニ沒收セラルヘシ

七、鱈ノ漁撈ハ鱈ヲ陸上ニ於テ製造スル場合ニハ漁區ノ水域内海岸ヨリ二露里以上ノ地点ニ於テ舟十二隻ヲ用ヒ釣針及延繩ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得該舟每一隻ハ四十呎ヨリ長カラザル(若ハ積量七百五十布度ヨリ大ナラサル)コトヲ要ス建網曳網其ノ他ノ漁具ヲ以テ漁撈ヲ爲スコトヲ得是等ノ漁具ヲ發見シタルトキハ之ヲ沒收シ且ツ契約ヲ解除ス

八、鱈ヲ船内ニテ製造スル場合ニハ借區者ハ鱈漁區ノ境域内ニ於テ漁船一隻及一隻ニ付一噸宛(長サ二十五呎迄)ノ舟十二隻ヲ使用シ是等

ノ舟ヲ以テ漁區境域内海岸ヨリ二露里以上ノ地点ニ於テ漁撈ヲ行ヒ船内ニ於テ魚ノ製造ヲ爲スコトヲ得但シ陸地ヲ使用シ陸上ニ於テ魚ヲ製造シ若ハ上陸スルコトヲ得ス陸上ニ於テ發見シタルモノハ一切之ヲ沒收ス

九、租借ニ係ル鱈漁區境域外ニ於テ漁撈ヲ行ヒ若ハ何等ノ目的ヲ以テスルヲ問ハス鱈漁船存在シタルトキハ漁具一切及船舶ハ船舶ニ在ル一切ノ附屬具ト共ニ之ヲ沒收ス

一〇、漁撈ヲ行フ毎漁舟ニハ行政廳ヨリ下付スル特別ノ鑑札ヲ附着スヘシ漁撈ヲ行フ舟ニシテ該鑑札ヲ付セサルモノハ一切之ヲ沒收ス漁區境域内若ハ外ニ發見セラレタル前諸項規定ノ數若ハ積量以上ノ一切ノ舟ハ同シク沒收セラルヘシ

一一、鱈漁ハ新曆六月一日ヨリ九月一日マテ之ヲ行フコトヲ得

一二、該漁期經過後ハ漁具及船舶其ノ他水上浮揚物一切ハ之ヲ搬出スヘシ然ラサレハ沒收セラルヘシ

一三、借區者ハ漁業監視官吏ノ請求アリタルトキハ直ニ自己ノ借區ニ於テ有スル宿舍内ニ官吏ヲ宿泊セシムヘシ

一四、借區者ハ其ノ漁區ニ於ケル漁業ニ關シ漁業監視官吏ノ要求アリタルトキハ故障ナク且遲滞ナク一切ノ報告及説明ヲナシ得ルノ準備ヲ調ヘ置クヘシ尚借區者ハ漁業監視官吏ノ要求アリタルトキハ直ニ海上陸地及帆船ニ於テ漁業施行検査ノ爲メ海上ト陸上トノ往復用渡舟ヲ供スヘシ

借區者ハ最後ノ要求不履行若ハ履行延滞ニ對シ五千留ノ違約金ヲ支拂フヘシ

一五、前條記載ノ義務履行ノ爲メ陸上每地區若ハ鱈ヲ船内ニ於テ製造スルトキハ船内ニ通譯ヲ有スヘシ之ニ違犯シタルトキハ借區者ハ一千留ノ違約金ヲ支拂フヘシ

一六、競賣ノ際(漁區貸下手續参照)借區者ヨリ納付シタル保証金ハ借區者ノ貸下條件履行ノ擔保ニ供ス該保証金ハ契約期間終了マテ極東漁業行政廳預託金中ニ保管シ置キ契約力完全

ニ履行セラレタルトキ借區者ニ返還ス
 一七、借區者ハ借區料ヲ均分シ半年分宛支金庫ノ一ニ前納スヘシ但シ前半期分ハ契約締結前浦鹽支金庫ニ納付シ料金領收証ハ契約締結ノ際漁業廳ニ提示スヘシ

一八、借區人若ハ其ノ正當代理人ハ漁區貸下ノ認可ニ關シ通知ヲ受ケタル後二週間内ニ借區契約書ニ署名スヘシ然ラサレハ借區人ハ借區ヲ拒絕シタルモノト看做シ競賣ノ際納付シタル保証金ハ國庫ニ沒收ス契約ニ要スル收入印紙稅ハ借區者ノ負擔トス契約書ノ原本ノ漁業行政廳ニ保管シ借區者ニハ証明ヲ付シタル贖本ヲ交付ス該贖本ハ漁區ニ備置キ借區者ノ獲得シタル權利ヲ証明スル爲メニ漁業監視官吏ニ提示スヘシ

一九、租借ニ係ル鱈漁區ハ漁業行政廳ノ承認ヲ受クルニアラサレハ他人ニ讓渡スルコトヲ得ス之ニ違犯シタルトキハ借區ハ借區者ヨリ之ヲ回收シ既納ノ借區料及保証金ハ之ヲ還付セ

二〇、漁業行政廳カ本條項ニ違犯シタル借區者ヨリ違約金ヲ徵收スルニハ先ツ提示シアル保証金ヲ以テ之ニ充テ尙不足ヲ告クルトキハ借區者ノ財産ヲ以テ之ニ充テ違約金徵收ニ關スル命令ハ官有財産貸下法及民事徵收法ノ規定ニ依リ之ヲ行フ

廳長代理 コーロポフ
 漁業高級監督官 某

一、九一九年漁業協約施行極東水域ニ於テ左記條項ニ依リ蟹漁場ヲ開設ス

- 一、蟹ノ漁獲及製造ノ爲ニハ沿海漁區ノ設置ニ當リ爲スト同シク出願者カ指定スル場合ニ特別ノ蟹漁區ヲ設置ス
- 二、該漁區ハ現行日露漁業協約及政府工事請負規則第四百一十一條乃至第七十條ニ基キ浦鹽斯德市ニ於テ入札競争ノ方法ヲ以テ貸下ク
- 三、蟹漁區一ヶ所ノ延長ハ直線ニテ計シ五露里トス且二個ノ蟹漁區間ノ距離ハ直線ニテ計算シ十露里以上ナルヲ要ス
- 四、蟹漁區ヲ租借シタル者ハ八隻以下ノ三羽船

及ニ隻以下ノ發動機艇ヲ使用シテ蟹ヲ漁獲スルコトヲ得但シ三羽船每一隻ハ積載量三百五十布度以下發動機艇ハ積載量六百布度以下ナルヲ要ス猶漁區ニ於テハ小舟(磯舟)ニ隻ヲ使用スルコトヲ得

此等ノ水上浮揚物一切ハ借區ノ境域内ニ之ヲ置クヘシ漁區境域内ニ於テ上記規定ノ數若ハ積載量以上ノ水上浮揚物ヲ發見シタルトキハ該水上浮揚物ハ之ヲ沒收シ且小舟(三羽若ハ磯舟)一隻ニ付一千留宛發動機艇一隻ニ付三千留ノ違約金ヲ徵收ス

五、上記ノ數ノ三羽船ヲ以テ蟹ヲ漁獲スルニハ建網若ハ底差網ノミヲ使用スヘシ
 網一個ハ二十五間(七呎ヲ以テ一間トス)ヨリ長カラス且網目ノ尺ハ二十三「センチメートル」以上ナルヲ要ス
 每一漁區ニ於テハ一漁期中豫備網ヲ合シ千五百個以下ノ蟹網ヲ使用スルコトヲ得該數以上ノ網ヲ漁區ニ於テ發見シタルカ若ハ上記ノ大サヲ超過シタル網アリタルトキハ一切之ヲ沒

收ス

六、蟹網ハ十露間以上ノ深所ニ之ヲ沈設スヘシ十露間以下ノ深所ニ沈設シタル網ハ之ヲ沒收ス

七、漁區ニ於テハ「トロール」網、建網若ハ其ノ他前掲漁具ヲ除キタル蟹若ハ魚類ノ漁具ヲ存置スルコトヲ嚴禁ス

八、漁業者ハ漁獲シタル蟹ヲ製造シ網ヲ貯藏及乾燥シ水上浮揚物ヲ引揚クル爲ニ海岸ニ沿ヒ延長百露間陸上奥行四十露間ノ地區ヲ使用スルコトヲ得

九、漁獲セラレタル蟹ハ陸上地區内ニ於テ製造スヘシ一切ノ蟹網モ亦同所ニ貯藏スヘシ
 帆船内ニ於テ蟹ヲ製造シ若ハ蟹網ヲ貯藏スル

漁業者ハ其ノ租借ニ係ル五露里ノ蟹漁區ノ境域内ニ於テ該地區ヲ撰定スルコトヲ得但該地區ハ河口ヨリ二露里以上ノ距離ヲ有シ且一般漁區ト蟹漁區カ同一借區者ニ屬スルトキト雖一般漁區ノ地區ハ重複スルコトヲ得ス

一〇、漁獲セラレタル蟹ハ陸上地區内ニ於テ製造スヘシ一切ノ蟹網モ亦同所ニ貯藏スヘシ
 帆船内ニ於テ蟹ヲ製造シ若ハ蟹網ヲ貯藏スル

トキハ蟹製造物及網ハ船ト共ニ之ヲ沒收ス

一〇、蟹肉ノ乾燥及蟹卵ノ製造ハ之ヲ禁ス此等禁止品ヲ發見シタルトキハ之ヲ沒收シ借區契約ハ之ヲ解除シ且一切ノ效果ヲ伴ハシム

一一、製造ノ爲メ漁獲シタル蟹ハ其ノ漁獲ノ當日之ヲ賣渡スヘシ之ニ違反シタル場合ハ蟹罐詰ヲ製造スルコトヲ得ス且該蟹ハ廢棄スヘシ

一二、借區者ハ漁獲蟹ノ數量計算ノ爲メ毎日漁獲高ヲ正確ニ記帳スヘシ

該記帳ヲ行ハス若ハ不正確ニ之ヲ行フトキハ記帳セサル數量ヲ以テ製造シタルモノハ悉ク之ヲ沒收ス

一三、借區勞動者ノ食料ニ充ツルカ爲メ釣針ヲ以テ魚類ヲ捕獲スルコトヲ得但シ捕獲シタル魚類ヲ貯藏ノ目的ヲ以テ製造スルコトヲ得ス貯藏ノ目的ヲ以テ製造シタル魚類ヲ地區ニ於テ發見シタルトキハ借區契約ハ之ヲ解除シ且ツ一切ノ效果ヲ之ニ伴ハシム

一四、蟹漁ハ三月一日以後ニ開始シ十一月一日以前ニ之ヲ終了シ且漁網ヲ悉ク除去スヘシ借

但シ三回後ハ漁區ヲ回收シ保證金ハ國庫ニ沒收ス

一八、競賣ノ際(漁區貸下手續參照)借區者ヨリ納付シタル保證金ハ借區者ノ貸下條件履行ノ擔保ニ供ス

該保證金ハ契約期間終了マテ極東漁業行政廳供托金中ニ保管シ借區者ノ貸下條件履行セラレタルトキ借區者ニ返還ス

一九、借區者ハ借區料ヲ均分シ半年分宛支金庫ノ一ニ前納スヘシ但シ前半年期分ハ契約締結前浦鹽斯德支金庫ニ納付シ料金領收證ハ契約締結ノ際漁業廳ニ提示スヘシ

二〇、借區人若ハ正當代理人ハ漁區貸下ノ認可ニ關シ通知ヲ受ケタル後二週間内ニ借區契約書ニ署名スヘシ然ラサレハ借區人ハ借區ヲ拒絶シタルモノト看做シ競賣ノ際納付シタル保證金ハ國庫ニ沒收ス契約ニ要スル收入印紙稅ハ借區者ノ負擔トス契約書ノ原本ハ漁業行政廳ニ保管シ借區者ニハ證明ヲ付シタル謄本ヲ下付ス該謄本ハ漁區ニ備置キ借區者ノ獲得シ

區者ハ每蟹漁時終末ニ漁網ヲ悉ク漁區ヨリ搬出スヘシ搬出セサルモノハ之ヲ沒收ス

一五、借區者ハ漁業監視官吏ノ請求アリタルトキハ直ニ自己ノ借區ニ於テ有スル宿舍内ニ於テ官吏ヲ宿泊セシムヘシ

一六、借區者ハ其ノ漁區ニ於テ漁業ニ關シ漁業監視官吏ノ要求アリタルトキハ故障ナク且遲滯ナク一切ノ報告及説明ヲ爲シ得ル準備ヲ調ヘ置クヘシ

尙借區者ハ漁業監視官吏ノ要求アリタルトキハ直ニ海上ノ陸地及帆船ニ於テ漁業施行檢査ノ爲メ海上トノ往復用渡船ヲ供スヘシ

借區者ハ最後ノ要求不履行延滞ニ對シ五千留ノ違約金ヲ支拂フヘシ

一七、借區者ノ所有若ハ傭人ニ係ル日本船舶カ開港以外航海證明書ニ記載ナキ地点ニ碇泊シタルトキハ借區者ハ該船一隻ニ付五百留ノ違約金ヲ支拂フヘシ小形船舶(三羽船及機艇)カ漁區ノ境域外ニ碇泊シタルトキハ借區者ハ其ノ都度壹千留ノ違約金ヲ支拂フヘシ

タル權利ヲ證明スル爲メニ漁業監視官吏ニ提示スヘシ

二一、租借ニ係ル蟹漁區ハ漁業行政廳ノ承認ヲ受クルニアラサレハ他人ニ讓渡スルコトヲ得ス之ニ違反シタルトキハ借區者ヨリ之ヲ回收シ既納ノ借區料及保證金ハ之ヲ還付セス

漁業行政廳ハ本條項ニ違反シタル借區者ヨリ違約金ヲ沒收スルニハ先ツ提供シタル保證金ヲ以テ之ニ充テ猶不足ヲ告クルトキハ借區者ノ財産ヲ以テ之ニ充ツ違約金徵收ニ關スル命令ハ官有財産貸下法及民事徵收法規定ニ依リ之ヲ行フ

廳長代理 コーロポフ
漁業高級監督官 某

●衛收第二、一〇三號ノ一

大正八年四月八日 警察部長

各警察官署長殿
各郡市長殿

愛知縣ニ於テハ左記ノ通り疑狂犬病發生ノ旨通知アリタリ

肺結核一名肺炎一名腦膜炎一名血管腫一名
合計五名ナリ

同地當省防疫事務囑託入倉榮暉ヨリ左ノ如ク報
告アリ(大正八年三月三十一日
內務省 衛生局)

●上海傳染病 自二月二十五日(週報 本件ニ關シ在
至三月二日)

新患者	刺	虎列	腸チ	バラチ	赤痢	ト	ベス	痘瘡	熱	猩紅	チフテ	發疹チ	腦脊髓
死者	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
現在者	一	九	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一月以	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
來累計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
死者	一	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

一、本期間中ニ於テハ一般傳染病狀況稍不
穩ニシテ流行性腦脊髓膜炎患者外國人一
名同死者支那人一名ヲ出ス猩紅熱及「チ
フス」ノ發生稍多ク又支那醫師ニ就テ聞
クニ支那町ニテ多少ノ痘瘡患者ノ發生ア
リト云フ

一、悪性感冒ノ發生ハ益々猖獗ニシテ昨年
十月及十一月ノ流行ニ劣ラヌ患者數ヲ出

シツ、アリ而シテ本期ノ患者ニハ肺炎ヲ
併發スルモノヨリモ寧ロ稍久シキ間持續
スル熱發ト下痢、腹痛、食慾不振等ヲ發シ
「バラチフス」様ノ症狀ヲ呈スルモノ比較
的ニ多ク患者ノ疲勞劇甚ニシテ病中ノ苦
悶ハ猛烈ナリ然レトモ之レカ爲メニ死亡
スルモノハ昨年ヨリ少シ

一、本期間中ニ於ケル各國共同居留地内ノ
死亡者ハ外國人八名支那人百九十二名合

計二百名ニシテ前週ヨリ多キコト五十六
名ナリ而シテ日本人ノ死亡者ハ脚氣一名
「インフルエンザ」一名ナリ

大正八年四月八日印刷發行

三重縣公報(第三種郵便物認可)

三重縣廳

印刷兼販賣所
三重縣津市北町拾貳番屋敷
松田武兵衛

導法社